

I 概要

1 校歌・校章・校訓

作詞 葭田義勝
作曲 石桁真礼生

校歌

葭田義勝(高四回卒) 作詞
石桁真礼生 作曲

一、青葉嶺の 朝にたかく

白き舎は 天を仰ぎぬ

雄叫びするどく

天彦の とよむがごとく

おほらけき 若き生命の

きわめゆく

道の辺に 桂は萌す

二、朝つゆの 志樂の里は

むらさきの かがよい 亘る

若き泉に

水玉の あふるるばかり

ゆたかなる 学の流れの

みはるかに

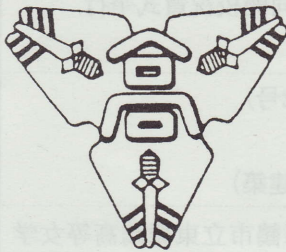
比ひなき ほまれつきせじ

(校 歌)

昭和27年2月22日に制定され、新制高校として発足した第4回卒業生の葭田義勝氏による作詞で、作曲は石桁真礼生教授（東京芸術大）に依頼してできあがったものです。男女共学にふさわしい、全国の高校の校歌には見られない特色をもっています。

歌詞は三つの部分に分かれ、最初の部分は荘重に、第二の部分では一番を男子だけ、二番は女子のみ歌うようになっております。

(校 章)



男女高校統合当時、全校生徒から図案を募集し、優秀作2点を取り、これを基にした向井寛三郎教授（京都工芸繊維大学）の考案によるもので、知徳体の人格を象徴する三羽の折鶴に「高」を配して躍進を意味し、逆三角形としたものです。

(校 訓)

誠実自律寛恕

本校に学ぶ生徒諸君が、まじめに真心をもって行動し（誠実）、自分できめたことがらを自らが守り、実行することができ（自律）、他人に対しては思いやりの心をもって接する（^{かんじよ}寛恕）人間になることを願っています。